

Contact: 広報担当(マーケティング部)
Tel: 03-5411-3790
E-mail: Tokyo-RIJ@russell.com

ラッセル・インベストメント株式会社
東京都港区赤坂 7-3-37 プラス・カナダ
www.russell.com

発信日: 2008年4月7日

「ラッセル世界環境テクノロジー・ファンド」の設定について 環境テクノロジー関連企業に投資、マルチ・マネージャー方式で運用

ラッセル・インベストメント株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼 CEO:ロナルド・J・バンディ)は、「ラッセル世界環境テクノロジー・ファンド」【追加型株式投資信託/国際株式型(一般型)】を2008年5月1日に新規に設定いたします。2008年4月17日より大和証券株式会社で募集を開始いたします。

当ファンドの主な特色は以下の通りです。

1. 環境関連企業に投資

持続可能な成長に欠かせない環境テクノロジーに注目し、今後成長が期待される環境関連企業などに投資します。

当ファンドでは、主に下記の3つの分野に注目しています。

① クリーンエネルギー& エネルギー効率	② 水関連技術& 環境汚染処理	③ 廃棄物処理& 環境マネジメント
風力発電、太陽光発電 燃料電池関連 バイオ燃料 低炭素化石燃料 エネルギー効率	水質浄化関連 二酸化炭素回収関連 環境調査および ガス・センサー事業	リサイクル設備・システム 総合廃棄物管理 環境コンサルタント会社

2. ラッセルが運用会社を厳選

運用は、ラッセルが世界中から厳選した複数の運用会社が、それぞれの持ち味を活かしてマルチ・マネージャー方式で行います。

当ファンドでは、①環境問題や環境株式の専門家としてグローバル株式市場から独自に環境テクノロジー銘柄を選択、②グローバル株式の専門家として「ラッセル・グローバル環境テクノロジー基準」*に沿って銘柄を選択、という2つのアプローチから環境関連企業に投資します。当ファンドで採用する運用会社(2008年3月27日現在)および各運用会社の特徴は、下記のとおりです。

	①環境株式の専門家 グローバル株式市場から独自に 環境テクノロジー銘柄を選択		②グローバル株式の専門家 「ラッセル・グローバル環境テクノロジー 基準」※に沿って銘柄を選択	
投資 アプローチ	環境業界の特定技術・テーマに専門性を有する運用会社が、世界の株式市場から、独自の視点・情報を最大限に利用し、公表データ等のみに縛られない調査・分析から今後成長が見込める企業を発掘		世界の環境テクノロジー関連企業群を網羅した「ラッセル・グローバル環境テクノロジー基準」※採用銘柄の中から、グローバル株式運用における独自の見識に基づき選別投資を行う	
社名	ジェネレーション社	インボックス社	アローストリート社	グローバル・カレンツ社
本拠地	ロンドン(英国)	ロンドン(英国)	ボストン(米国)	デラウェア州(米国)
特徴	元米国副大統領アル・ゴア氏らが創設。環境ビジネスにおける世界的なリーダー・有識者で構成される諮問委員会がビジネス環境変化を予見し、独自のサステナビリティ調査(持続成長可能企業の調査・発掘)に基づいて世界の株式市場から厳選された銘柄に集中的かつ長期的に投資。	環境テクノロジービジネス分野の企業リサーチおよび分析に約12年携わっており、この分野におけるパイオニア。「ラッセル・グローバル環境テクノロジー基準」※の作成にも協力。	最先端の投資理論を具現化したクオンツ・モデルを駆使した機動的な運用が特徴。主要な環境技術銘柄全体の値動きを享受するために組入れ。	ファンダメンタルズ分析からの銘柄調査に定評あり。グローバル SRI 運用に実績があり、主要な環境技術銘柄のユニバース全体から割安銘柄を発掘。ポートフォリオ全体の割高化を回避する機能を期待。

(注)当ファンド全体の運用効率を高めるためのキャッシュ・エクイタイゼーションや、他の外部委託先運用会社の変更時における資産の移転管理および一時的な運用を行うことなどを目的として、上記外部委託先運用会社の他に、委託会社の関連会社である「フランク・ラッセル・カンパニー」に対して運用の指図に係る権限を委託します。運用会社名は略称を使用しております。

※「ラッセル・グローバル環境テクノロジー基準」とは

ラッセル・インベストメント依頼の下、FTSE 社により選定された環境技術企業銘柄のベンチマーク*を利用します。当ファンドにおいては、「アローストリート社」および「グローバル・カレンツ社」は当該基準を満たす企業ユニバースの中で運用を行います。

「ラッセル・グローバル環境テクノロジー基準」の構築プロセス

ステップ 1	世界 48 カ国の株式から以下の事業を行う企業を選別 ①クリーンエネルギー&エネルギー効率 ②水関連技術&環境汚染処理 ③廃棄物処理&環境マネジメント
ステップ 2	以下の項目により純粋な環境技術企業を再選別 ①全売上における環境ビジネス関連の売上の貢献度 ②投資資本における環境ビジネス関連への投資の割合 ③純利益における環境ビジネス関連の利益の貢献度

*当ベンチマークはインボックス・アセット・マネジメント・リミテッド (Impax) との提携の下、FTSE インターナショナル・リミテッド (FTSE) によって作成されております。当ベンチマークにおける全ての権益は、FTSE および/または Impax に帰属します。FTSE®は、ロンドン証券取引所およびフィナンシャル・タイムズ社の登録商標であり、ライセンスのもとで FTSE により使用されています。FTSE および Impax およびその権益貸与者は、FTSE 指数またはその内在データにおける誤謬もしくは欠落に対し一切責任を負いません。

ファンドの基本情報

ファンド名	ラッセル世界環境テクノロジー・ファンド
商品分類	追加型株式投資信託／国際株式型(一般型)
当初申込期間	平成20年4月17日～4月30日
信託設定日	平成20年5月1日
継続申込期間	平成20年5月1日～平成21年6月10日 (平成21年6月11日以降については、事前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。)
信託期間	原則として、無期限 (設定日から1年経過後、当ファンドの純資産総額が100億円を下回った場合等には、繰上償還することがあります。)
主な投資対象	日本を含む世界各国の環境テクノロジー関連株式を主要投資対象とします。
当初設定予定額	1,050億円を上限とします。
信託金限度額	2,500億円
投資態度	<ol style="list-style-type: none"> 主としてわが国を含む世界各国の環境テクノロジー関連株式への投資を通じて、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 運用にあたっては、原則として委託会社が選定した複数の外部委託先運用会社に運用指図にかかる権限を委託し、各外部委託先運用会社の組み合わせにより、投資成果の向上を図ります。なお、委託会社の判断により、適宜、外部委託先運用会社の追加、削除または入替え、ならびに各外部委託先運用会社への委託割合の変更を行うことがあります。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 株式以外の資産への投資は、信託財産総額の50%以下とします。 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクまたは為替変動リスクを回避するため、デリバティブ取引を行うことができます。 資金動向、市況動向等により、上記のような運用ができない場合があります。
主な投資制限	株式の投資割合には制限を設けません。 外貨建資産の投資割合には制限を設けません。 投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。
決算日	毎年3月、9月の各10日(当該日が休業日の場合は、翌営業日) なお、第1期計算期間は平成20年5月1日から平成20年9月10日までとします。
分配方針	毎決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、基準価額の水準や市況動向によっては、分配を行わないことがあります。 「分配金再投資コース」: 収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。 「分配金支払いコース」: 収益分配金は税金を差し引いた後、原則として決算日から起算して5営業日までに お支払いを開始します。
課税関係	原則として、収益分配時の普通分配金や、ご換金時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。なお、買取りによるご換金については、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
お買付け・ご換金	継続申込期間中におけるお買付けおよびご換金の申込みの受付は、午後3時(年末年始等の半休日においては午前11時)までとさせていただきます。この時刻を過ぎた申込みは、翌営業日の取扱いとなります。なお、ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所およびフランクフルト証券取引所のいずれかの休業日に該当する場合には、販売会社の営業日であってもお買付けおよびご換金の申込みの受付は行いません。
お買付け価額	申込受付日の翌営業日の基準価額(当初1万円=1万円)
お買付け単位	10万円以上1円単位 [※] または10万口以上1口単位 [※] 申込手数料および申込手数料にかかる消費税等相当額を含めて10万円以上1円単位でお申込みいただけます。
委託会社	ラッセル・インベストメント株式会社(信託財産の運用指図等を行います)
外部委託先運用会社	<p>(イ) 商 号:ジェネレーション・インベストメント・マネジメント・エル・エル・ピー《英国》 委託内容:グローバル株式を対象としたサステナブル運用[※] [※]環境や社会に配慮して将来にわたり持続発展が期待される企業を主な投資対象とします。 委託会社からの権限委託を受け、信託財産の一部の運用指図等を行います。</p> <p>(ロ) 商 号:インパックス・アセット・マネジメント・リミテッド《英国》 委託内容:グローバル株式を対象とした環境関連銘柄中心の運用 委託会社からの権限委託を受け、信託財産の一部の運用指図等を行います。</p> <p>(ハ) 商 号:アローストリート・キャピタル・リミテッド・パートナーシップ《米国》</p>

	<p>委託内容：ラッセル・グローバル環境テクノロジー基準に沿った株式を対象としたクオンツ型運用委託会社からの権限委託を受け、信託財産の一部の運用指図等を行います。</p> <p>(ニ) 商号：グローバル・カレンツ・インベストメント・マネジмент・エル・エル・シー《米国》 委託内容：ラッセル・グローバル環境テクノロジー基準に沿った株式を対象としたバリュー型運用委託会社からの権限委託を受け、信託財産の一部の運用指図等を行います。</p> <p>(ホ) 商号：フランク・ラッセル・カンパニー《米国》 委託内容：当ファンド全体の運用効率を高めるためのキャッシュ・エクイタイゼーションや、他の外部委託先運用会社の変更時における資産の移転管理および一時的な運用を行うことなどを目的とした運用指図等を行います。</p>
受託銀行	三菱UFJ信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）（信託財産の保管・管理等を行います）
販売会社	大和証券株式会社（募集の取扱い等を行います）

お客さまにご負担いただく費用

当ファンドのご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

直接ご負担いただく費用

◆ お買付時の申込手数料

申込金額に下記の手数料率を乗じて得た額とします。

申込金額：(申込受付日の翌営業日の基準価額／1万口)×申込口数

お買付時の申込金額	手数料率(税込)
1,000万円未満	3.150%
1,000万円以上5億円未満	2.100%
5億円以上10億円未満	1.050%
10億円以上	0.525%

※ 償還乗換え等の場合には、償還金等の額の範囲内で取得する口数について上記手数料を無料とさせていただきます。

◆ 換金(解約)手数料

ありません。

◆ 信託財産留保額

ありません。

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

◆ 信託報酬

信託報酬の総額は、当ファンドの計算期間を通じて毎日、当ファンドの純資産総額に年1.995% (税込) の率を乗じて得た額とします。

※ 当ファンドで採用する各外部委託運用会社に対する報酬は、委託会社が受取る信託報酬の中にすべて含まれます。

◆ 諸費用

当ファンドの監査費用、目論見書の作成費用、運用報告書の作成費用等について、当ファンドの純資産総額の年0.105% (税込) を上限として、信託財産から支払うことができます。

◆ その他費用

組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、信託事務の処理に要する諸費用、先物・オプション取引に要する費用等について、信託財産から支払われます。

※ その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

* 当該手数料等の合計額については、当ファンドを保有されている期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

* 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドのリスクについて

詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

当ファンドは、主に日本を含む世界各国の株式など値動きのある証券に投資しますので、組入株式等の価格の下落ならびにそれらの発行会社の財務状況の悪化等の影響により、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え外貨建資産を投資対象としますので、為替の変動により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。運用による損益はすべて投資家の皆さまに帰属します。投資した資産の減少を含むリスクは投資家の皆さまが負うこととなります。当ファンドの主な基準価額の変動リスクとしては、株価変動リスク、株式の発行会社の信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、市場動向と乖離するリスク等があります。上記は当ファンドの基準価額に影響を及ぼす主なリスクであり、リスクは上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があると委託会社が判断したときは、委託会社の判断により、当ファンドのお買付けおよびご換金の各受付を中止すること、既に受付けたお買付けおよびご換金の各受付を取消す場合があります。
- ご換金の申込みの受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日のご換金の申込みを撤回できます。ただし、受益者がそのご換金の申込みを撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日にご換金の申込みを受付けたものとして取扱います。
- 当ファンドの資金管理を円滑に行うために、大口のご換金について、当ファンドの純資産総額や市場の流動性の状況等によっては、委託会社の判断により、ご換金の金額に制限を設ける場合があります。

ラッセル・インベストメントについて

ラッセル・インベストメントは、現在世界 47 カ国において、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っており、現在当グループが提供するファンドの運用資産総額は約 25 兆円*となっています。グループの創立は 1936 年。米国ワシントン州タコマを本拠地とし、米国最大手の個人生命保険会社であるノースウェスタン・ミューチュアル・ライフ・インシュアランスの子会社です。

日本においては 1986 年に東京オフィスを開設。現在、ラッセル・インベストメント株式会社を通じて各種サービスを提供しています。詳しくは www.russell.com/jpii をご覧ください。

(* 2007 年 12 月末現在)

Copyright ©2008. Russell Investments. All rights reserved. ラッセル・インベストメントは世界中の拠点を通じて事業を展開しています。「ラッセル・インベストメント グループ」、「ラッセル・インベストメント」および「ラッセル」は、フランク・ラッセル・カンパニーおよびその子会社等の総称です。当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。当資料は、一般的な情報の提供を目的としており、特定の運用商品の推奨等の投資勧誘を目的としたものではありません。当社による事前の書面による許可がない限り、資料の全部または一部の複製、転用、配布はいかなる形式においてもご遠慮下さい。